

高エネルギー加速器セミナーOHO'19開催報告

9月10日～13日、高エネルギー加速器研究機構において高エネルギー加速器セミナーOHO'19が開催されました。企画・運営を担当された高エネルギー加速器研究機構・加速器研究施設の小林幸則教授にお話を伺いました。

高エネルギー加速器セミナー、OHOは1984年以来、将来の高エネルギー加速器をにう若手研究者の育成と、一般企業の研究者の加速器科学への理解を深めることを目的として、毎年開催されてきました。日本の加速器科学分野の第一線で活躍中の各分野の専門家が、その年のテーマ毎に最先端の加速器科学を基礎から講義しています。2019年9月10日～13日までの4日間にわたり「SuperKEKB - ルミノシティフロンティアを切り拓く電子陽電子コライダー」と題して、KEKに於いて開催され、企業、研究所、技術者、大学などの研究者、大学院生、大学生など94名が全国から参加しました。

SuperKEKB加速器は、建設終了後から順調にコミッショニングが進み、2018年ナノビーム方式による世界初の電子と陽電子の衝突に成功しました。さらに、Belle IIIに搭載する最後の測定器である崩壊点検出器(VXD)の設置も完了し、2019年3月からすべての装置を備え、KEKB加速器の40倍のルミノシティを目指した本格的な運転が開始されたところ です。

今回のセミナーでは、そのSuperKEKB加速器について学びました。プログラムには施設見学もあり、電子陽電子入射器棟(LINAC)、ダンピングリング(DR)、メインリング(MR)を見学しました。

またOHOの呼びものの一つである「夜話」(講義ではなく研究者の方の経験談などを伺う)では、加速器を使った素粒子物理学専門で、現在までにBell実験、Bell II実験、ATLAS実験に参加し、ILC実験の為の準備をしている石川明正氏に「Bell II 実験が目指す物理」について、大変感慨深いお話しをしていただきました。TIA連携大学院サマー・オープン・フェスティバルの一環となり、他機関と連携しながら、若手研究者育成のさらなる可能性を広げていくことが期待されています。

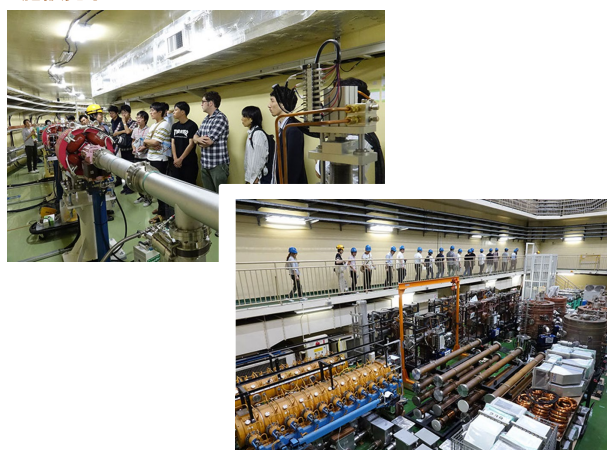
集合写真



講義風景



施設見学



開催日	2019年9月10日(火)～13日(金)
場所	高エネルギー加速器研究機構 3号館セミナーホール
主催	高エネルギー加速器研究機構、総合研究大学院大学、公益財団法人高エネルギー加速器科学研究奨励会
参加人数	94名(内 大学院生16名、学部生2名)

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。

<http://tia-edu.jp>



●編集・発行・連絡先:

国立大学法人 筑波大学 TIA推進室

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1 Tel. 029-853-4028 tia-edu@un.tsukuba.ac.jp